



進路だより

～強く 気高く しなやかに～

第1号

発行日 令和5年4月11日(火)

上尾市立上尾中学校

進路指導主任 竹内 貴弘



3年生の皆さん、進級おめでとうございます。ついに最上級生です。そして義務教育最後の年となりました。自分の人生の大きな節目を迎えることとなります。卒業後の進路を自分自身で決定できるように将来のことを考えながら、残り1年間過ごしましょう。迷ったり、不安になったときには先生方を頼ってください。共に頑張っていきましょう。

今からできることリスト



①進路情報を集める

- ・高校のホームページを見ると、それぞれの高校には、様々な特色があることが分かります。教育方針や学科の違い、学校生活の様子など、たくさんの情報が載っています。
- ・合同進学相談会に行く。公立・私立の様々な学校が合同で相談会を開いています。各校のブースでは、さらに詳しい説明を聞くことができ、学校案内や入試情報の資料をもらうこともできます。
- ・各クラスやPC室前に進路情報を掲示します。活用してください。

②実際に高校へ行ってみる

- ・学校見学会、入試説明会に参加する。学校の様子や特徴を実際に自分の目で見て確かめることができます。また、パンフレットではわからない情報も、直接質問できます。校内の施設や、部活動を見学することも可能です。また、入試説明会では、入試の制度や必要とされている学力、推薦の基準などを知り、相談することができます。私立高校の場合は、個別相談に行くことを強くおすすめします。特に第一志望の場合は、1度だけではなく、2度3度と足を運ぶことが大切です。当然ですが、1度も訪れたことのない学校を受験することがないように計画的に進めましょう。
- ・オープンキャンパス・体験入学が夏休みを中心に行われます。高校の授業を実際に体験したり、部活動の練習に参加させてもらえる機会を設けている学校もあります。学校生活を体験することで、進学後のイメージが描きやすくなります。文化祭や体育祭ではその学校の特色が表れやすいです。特に、文化祭ではその学校の雰囲気や在校生の様子を感じ取ることができます。

③高校を訪れる際の注意事項

- ・事前に連絡をする。「事前予約が必要」となっている場合は、期限までに指定された方法（電話・FAX・ホームページなど）で申しこむ必要があります。
- ・制服で訪問します。あくまで「受験生」として訪問をさせてもらうので、失礼のないような服装と礼儀で伺うことが必要です。
- ・できるだけ保護者同伴で行きましょう。保護者の方々にも自分の意思をしっかりと伝え、進学したい学校の様子を知っておいていただく必要があります。